

田原坂

明治十年西南の役から数えて、今年はおおよそ百周年になります。この西南の役で思い出されるのが田原坂、この田原坂が植木町の西方にあります。

火の国あれこれ

明治十年二月十五日鹿兒島をたった薩軍は同月二十二日未明に熊本城を包囲、総攻撃を開始しました。一方別働隊が植木方面に進出し南下する官軍に備え、官軍では谷熊本鎮台司令官が乃木に救援命令を出し、乃木連隊は小倉を出発、熊本に向いましたが、途中向坂（植木町南方）の激戦で敗北し連隊旗を奪われました。責任を感じた乃木少佐が植木にひきかえし、自決せんとした場所千本桜も国道二〇八号線沿いにあります。

田原坂激戦での兵力は官軍一万五千、薩軍一万でした。田原坂からはるかに見える二俣、横平山、半高山、吉次峠などには連日連夜白兵戦が展開され、しかばねを山と積む悲惨事が続きました。



▲100周年記念模擬戦

軍）が退却敗走するに及び田原坂は陥落、十八昼夜にわたる攻防戦に終符が打たれました。田原坂周辺の両軍の戦死者は一万三千余といわれています。明治十三年十月に立てられた記念碑は有栖川の宮熾仁親王殿下のご撰文並びに繁額です。昭和三十三年四月西南の役八十年をを迎えた町では、官軍薩軍戦没の名将勇士及びこれに關連ある人々の英霊を弔うために慰霊塔を建立、高さ十五メートルにおよぶ塔が空高くそびえ、ここかしこつつじ、梅、楠などが植えられ、かつての激戦地も、今では美しい公園となり人々に親しまれています。

— 植木町 —

民話



袋池の大蛇

熊本市八幡町
立山 大作

昔、昔、ここ天草郡富岡には、お城がありました。富岡は、熊本のいや日本の要地として大切な港でした。そこにぎわいもひとしお。

この富岡町に、米屋をする正べえ、と言う人がいました。名のとおり、正直いちずの人で、町の人は、正直正べえ、仏の正べえと言っていました。

正べえさんには子どもがありません。お城の下の袋池のほとりに、子宝地藏と言ってお地蔵様がいらっしやいました。正べえさん夫婦は、二十一日間の「願かけ朝まいり」をしまして、めでたく、かわいいきれいな女の子を授かりまし

た。正べえさん夫婦のよろこびは、天にも上る思いでした。

ところが、小夜と名づけこの子が、三歳になったころから、正べえさんの顔から、眼の色から、仏の光が消えました。正べえさんの顔はへんにゆがみ、眼からは、怪しい光が人の心につきささる思いでした。

正べえさんは、米を買い集める時は、大きい枀で買い、売る時は小さい枀で売りました。大小二つの枀をあやつり、金もうけを始めたのです。こんな悪どいことしたら、お金はたまはずですね。

こうして、小夜が七つのひもとときとなり大金持となりました。町の人たちは目を見はりました。

小夜が十になりました。お金はたまらうっぽうです。大きな家も立ち、蔵も立ちならびました。

そのうち、小夜は、お父さんの悪どい商法を気づき、お父さんの強慾さをせめました。

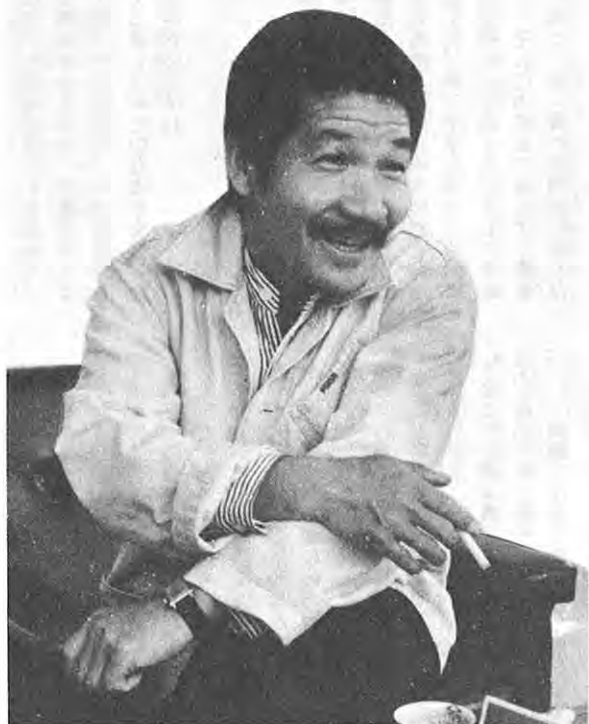
「金さえあると、父母の死んだ後も、おまえは幸にくらせる。そのためこうして金をためるのだ。なんかもおまえのためだ。」

小夜は、あまりの悲しさに、袋池に身を沈めました。小夜は、おそろしい大蛇となつて池の上にかんだ木の葉を、バリバリかんで、のたうちまわっていました。その時から今でもこの池には一枚の木の葉もうかんでいません。



この人と30分

このコーナーは県出身者で各界で活躍しておられる方々を紹介するとともに、県政への提言などをお聞きするものです。



優雅でぜいたくな仕事

俳優 常田 富士男 さん

「僕たちの仕事というのは、いわば優雅でぜいたくなものとして、世の中に存在していると思うんです。なければいけないようなものですが、でもそういうわけにもいきませんね……」と人なつっこい目が笑う。

富士一部隊

子供の頃の懐かしい思い出のひとつに、夜なべ仕事があります。僕の生れた所は戸数四十ぐらいの小さな村で、冬場になると青年団の手でワラ小屋が建つんです。そこに、僕たち子供までが集まって、夜、縄ないとか、ワラジとか、足なかといたつたワラ仕事をやるんです。一緒にモチなんか焼いたりしてね。そこで、青年団からいろんな話を聞いたり、使い走りをしてたりね……。楽しかったですよ。

勉強はあまりできなくてね、ただ、絵とか音楽は好きでした。学芸会などは夢中になってやりましたよ。

家に帰ると、僕の名前をとった「富士一部隊」というのを作りました。僕がお山の大将ですよ。(笑) 富士一部隊は学校が終わると、決まって近くの公園に集合するんです。僕の家はちっちゃな雑貨屋をやったもんですから、当時、農家にはないアメ玉なんかあるんですよ。それを得意気に持って行くわけです。農家の子はつるし柿とか、サツマイモの干したものを、あるいは焼米なんか持って来るんです。きつと漬物に使ったんでしょね、干柿の皮を持って来る子もいました。あれ噛むと甘いんですよ。

去る一月、東京、保谷市長選に出馬したが惜しくも落選した。所属・中村企画。現住所・東京都保谷市東町四一五一二。ヤス子夫人と双子の一男一女の四人家族。